

八代市地域公共交通網 形成計画を策定しました

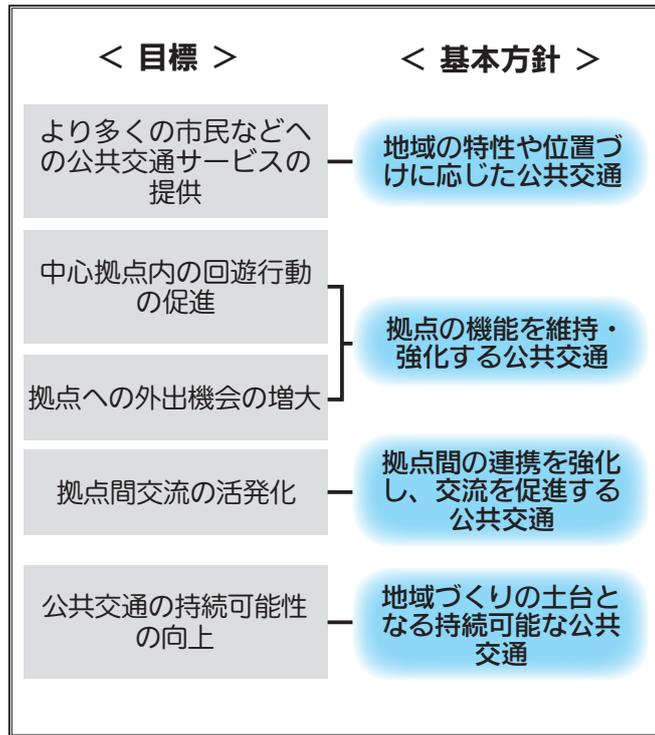
今後の公共交通のあり方を検討し、取り組みの方向性を定めた交通の総合的な計画を策定しました。

問合せ 企画政策課 ☎33-4104



取り組みの方向性

- 「まちづくり」の視点に基づく公共交通の役割分担の明確化
- 公共交通の利用需要とサービス水準のバランスの改善
- 移動ニーズを踏まえた利便性の向上
- 公共交通不便地域への対応
- 交通結節点における乗り継ぎ利便性の向上
- 公平性にも配慮した運賃設定の見直し
- 地域が一丸となって公共交通を支える仕組みづくり



公共交通のあり方

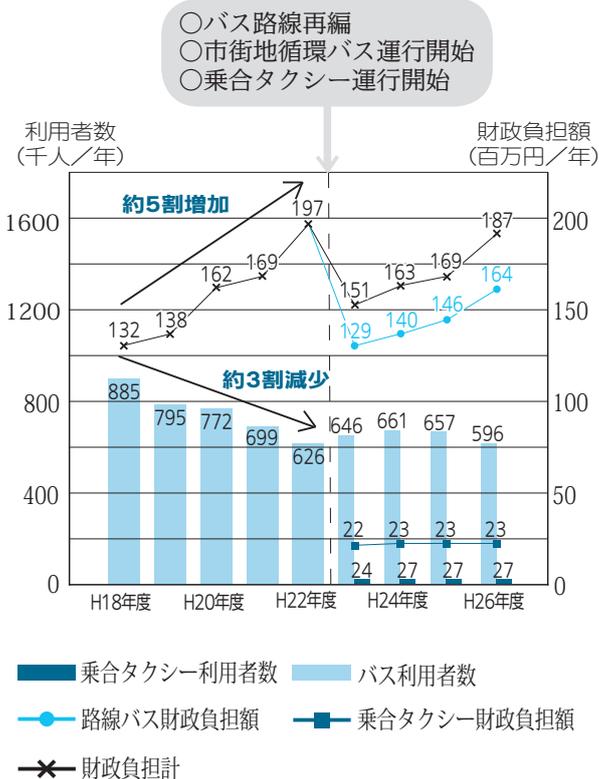
自家用車の利用拡大や人口減少などに伴い、公共交通の利用者数は減少傾向が続いています。一方で、急速に進展する高齢化社会など、公共交通に求められる役割は今後ますます大きくなっていきます。

このため、市民の生活を支える公共交通づくりに向けた、交通の総合的な計画を策定しました。

公共交通の利用者数と財政負担の推移(左図)

市内を運行する路線バス利用者数の割合は、平成18年度からの4年間で約3割減少。一方で財政負担額の割合は約5割増加するなど、非常に厳しい状況でした。

平成22年10月、バス路線の抜本的な再編を行うとともに、市街地循環バス・乗合タクシーの導入・運行を実施。公共交通の利用者数の割合は微増傾向を示しましたが、再び減少傾向に転じており、近年、事業者の赤字運行に係る市の財政負担額も再編前に近い水準まで増加しています。



八代市地域公共交通網形成計画(概要版)を設置

地域の公共交通を維持するには、行政や事業者だけでなく、市民の皆さんも公共交通を身近なものとして感じ、大切に守っていく意識を持っていただくことが重要です。

詳細は、八代市地域公共交通網形成計画(概要版)を市役所本庁情報プラザや各支所、各出張所、公民館などに設置してありますのでご覧ください。また、市ホームページにも掲載しています。

同計画について詳しく聞きたい場合は「まちづくり出前講座」をご利用ください。